

# このごろのこと

駒村吉重

12/9  
発送開始  
予定

●四六判並製・216頁／定価：本体1400円＋税



このごろのこと

駒村吉重

『問う日誌』  
三年分のページから  
選りすぐりました

Live Publishing

新しい年号、  
専制政治、  
コロナ禍、そして  
オリンピックは  
やってきたけれど……  
のぞんだくらしが  
これなんだろうか

新しい年号、専制政治、コロナ、オリンピック……。この三年間というときの積み重ねは、今現在を、そして今後を見通すうえで、私たちにとって大きな意味を持つ日々だったのかもしれない。  
著者が綴ってきた『問う日誌』とともにいったん立ち止まり、一緒に考えてみませんか？

資本主義が煮詰まり、消費の量が圧倒的な力を持つようになりました。

数と量は、あらゆることの方角性や正否を規定し、ものの価値、人の思考すらも支配する。ではその力にあらがうのは、愚かなことだろうか。いったん立ち止まってみてはどうか。

この三年の間そんな思いを抱えて書きだした散文が、ずいぶん多いと気づかされました。

たえず、うちなる違和感を言語化してきたのは、わたし自身が正気と方向感覚を保つために必要だったからです。

——あとがきより

駒村吉重（こまむらきちえ）

一九八八年、長野県生まれ。一年半モンゴルに滞在し帰国後、取材執筆活動に入る。二〇〇三年『ダッカへ帰る日』故郷を見失ったベンガル人（『第一回開高健ノンフィクション賞優秀賞』。二〇〇七年『煙る鯨影』で第十四回小学館ノンフィクション大賞を受賞。ほかに『君は隅田川に消えたのか 藤牧義夫と版画の虚実』（講談社）、『山靴の画文や辻まことのこと』（山川出版社）、『お父さん、フランス人部隊に入隊します』（廣済堂文庫）、詩集『おぎにり』（未知谷）など。

●直接取引 ●低正味 ●スピード納品 ●新規手続き不要 1冊からお気軽にどうぞ!



この商品は直接取引でお届けします。新刊配本はいたしません。物流と決済はトランスビューが代行、貴店からの新規手続きは不要です。  
●条件=他のトランスビューの商品と同様  
●随時返品可(送料元払い)  
●取次ルートに対応(完全買切・返品不可)

<b>このごろのこと</b>		注文
駒村吉重著		冊
●四六判／定価:本体1400円+税 ISBN978-4-910519-02-9		
貴店名		
ご担当		

ご注文  
お問い合わせは FAX. **0120-999-968**